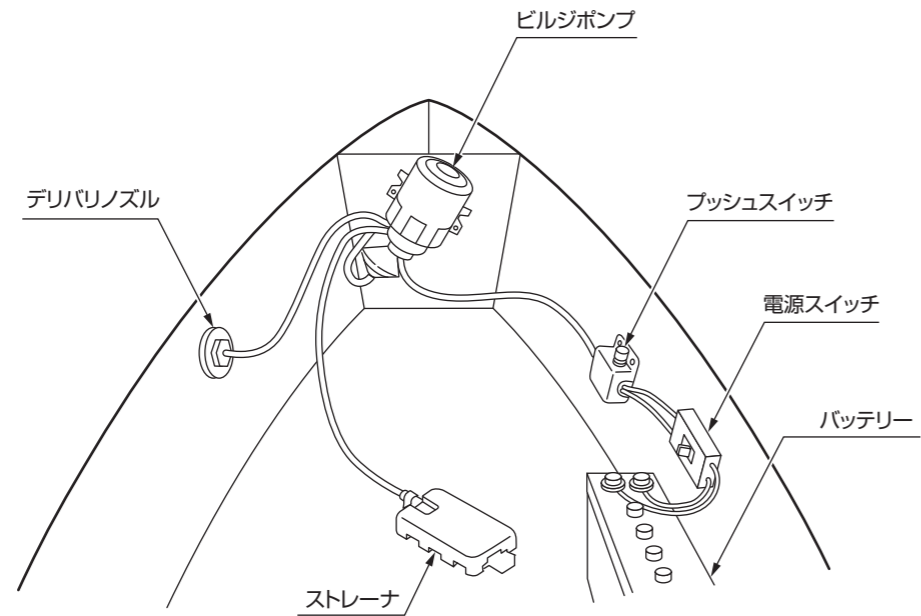
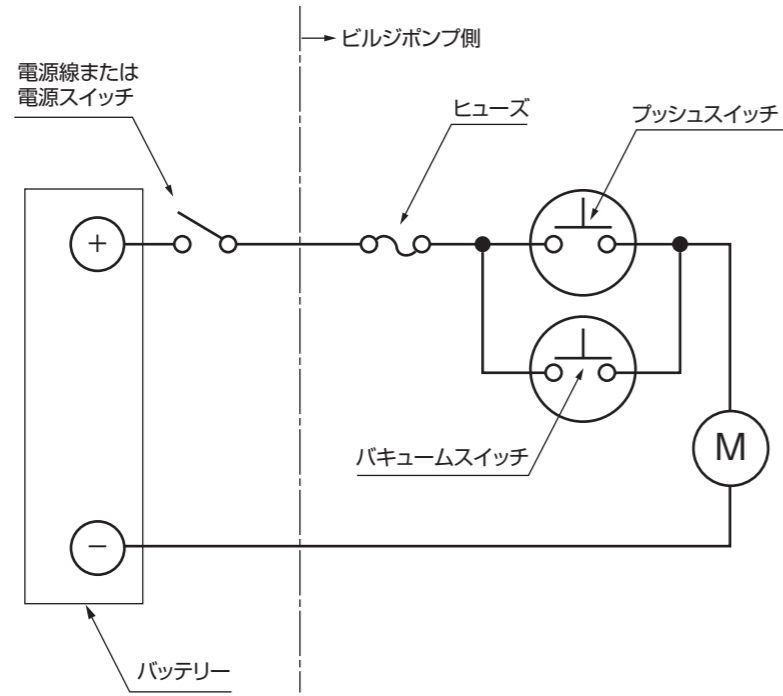
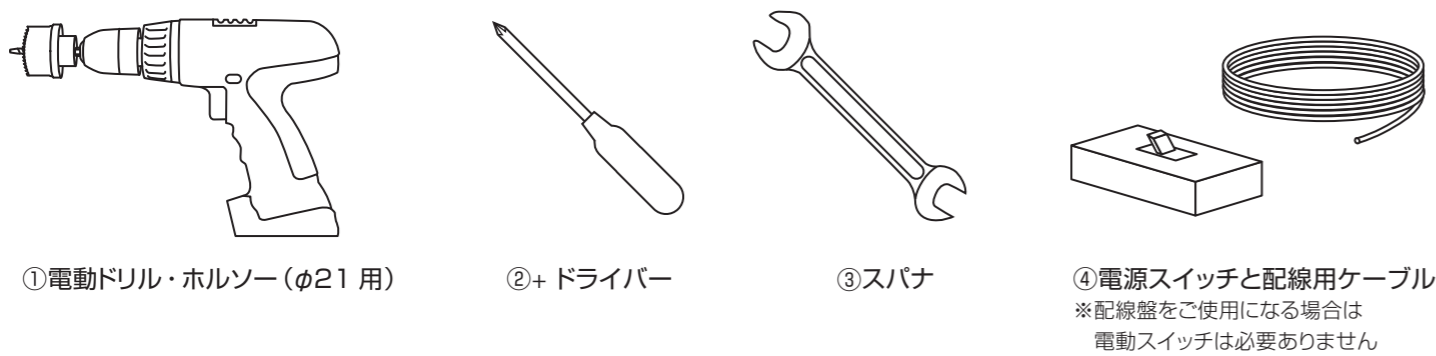




## 取付図

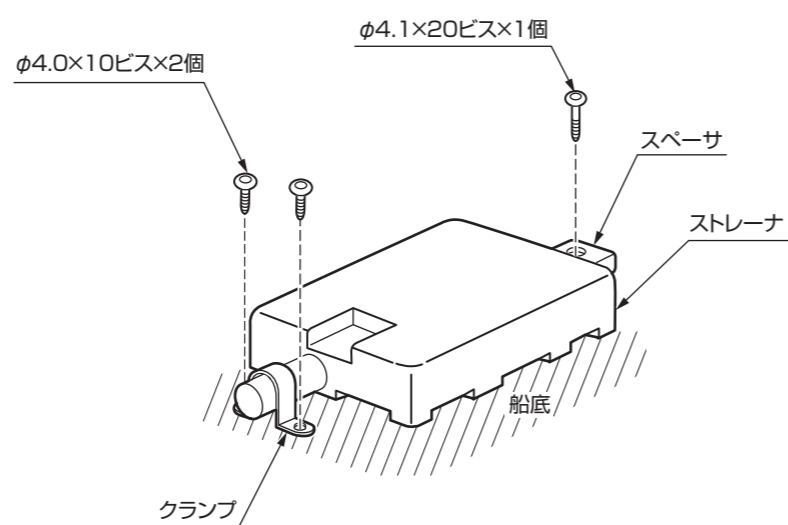


## 取り付けに必要なもの



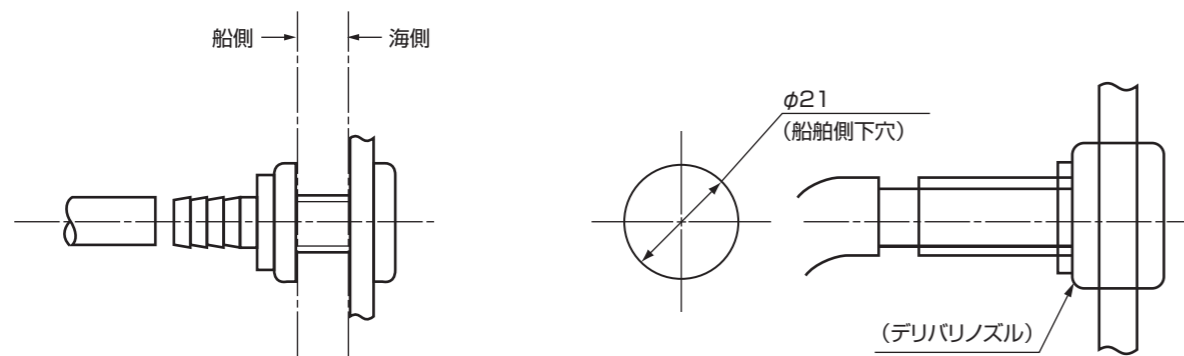
## 3 ストレーナの取り付け

- 船が停止している時、もっとも水のたまる位置を選んでください。
- 1.2~1.8mのホース長さで、ゆったりと取り付けられる位置を選んでください。
- 3mのホースを1.2~1.8mに切り、ストレーナにホースを確実に差し込み、スペーサ、クランプにて船底に取り付けてください。(ビスをねじ込む場合は、船底の板厚に注意し貫通させぬよう細心の注意をはらってください。)

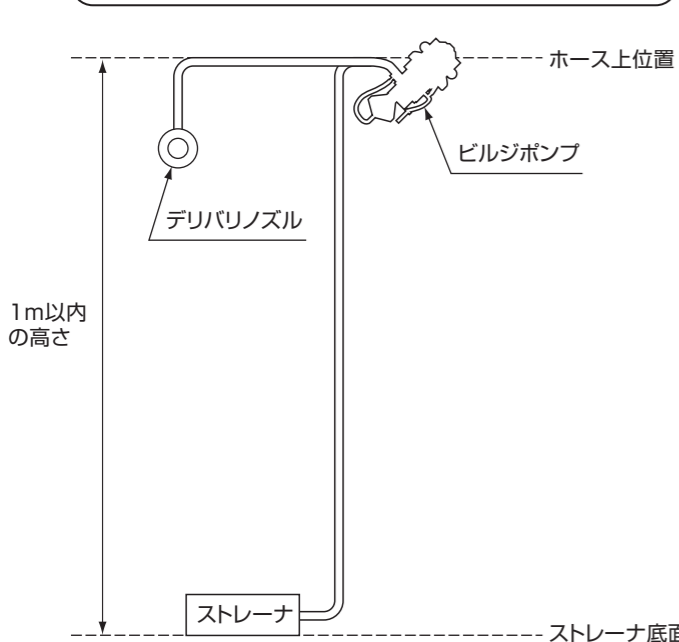


## 4 デリバリノズルの取り付け

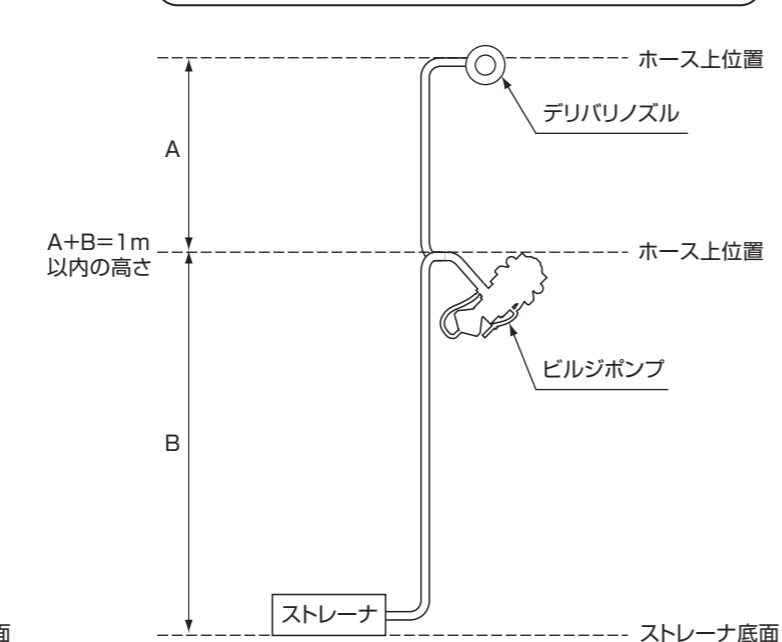
- 海面(\*)より上方で1.2m以下のホースで、ゆったりと取り付けられる位置を決め、φ21の下穴をあけてください。  
※航行中でも海水が侵入せず、ストレーナから高さ1m以内の高さ
- デリバリノズルをスパナで固定し、ホースを確実に差し込んでください。



### デリバリノズルがビルジポンプより下位置の場合

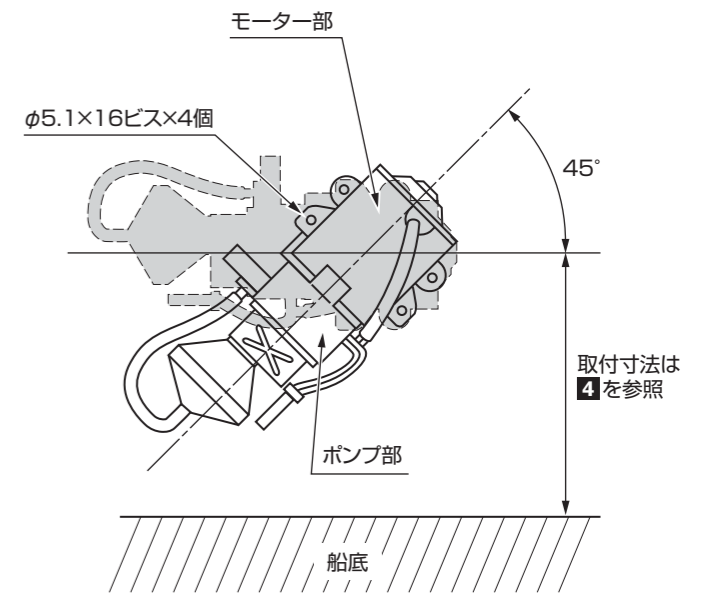


### デリバリノズルがビルジポンプより上位置の場合



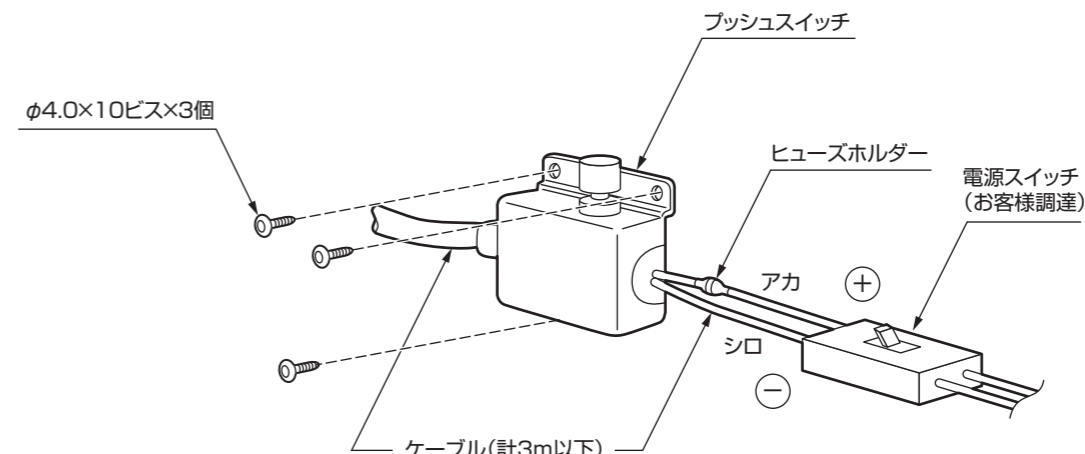
## 1 ビルジポンプの取り付け

- ビルジ水位より高い所で雨や水の影響を受けない場所、またビスを取り付けても支障がない位置を選んでください。  
※被水時は、耐久性が低下する恐れがあります。
- 電源スイッチ(または配電盤)との距離とプッシュスイッチのケーブルの長さ(3m)を考えて位置を選んでください。
- 取り付け姿勢は図のようにモーター部が上になるようモーター軸が約45°になるようにしてください。  
※モーター部防水効果向上のため。
- モーター取付位置を確認後、φ5.1×16ビス4個で確実に固定してください。



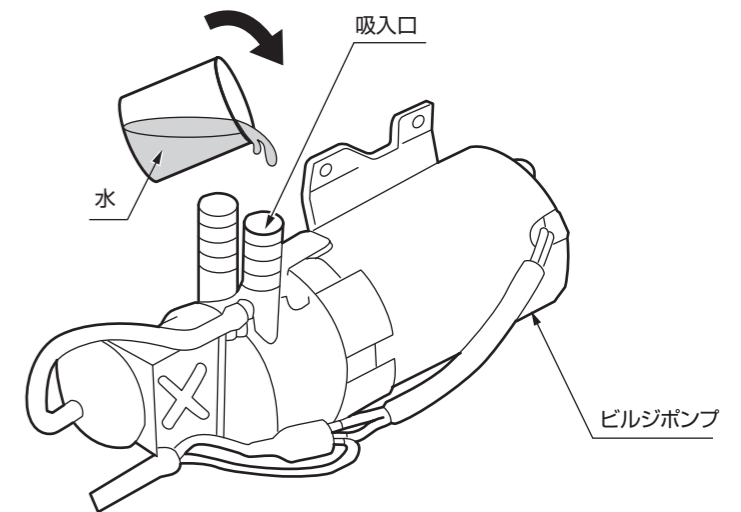
## 2 プッシュスイッチの取り付け

- プッシュスイッチは雨や水がかからない操作のしやすい場所を選んで取り付けてください。
- ターミナルを電源スイッチ(または配電盤)に固定してください。  
(電源スイッチが遠く、追加配線をするときには長さ3m以下で導体面積が3mm<sup>2</sup>以上の被覆電線を使用してください。)
- 配線の引回し時は、線のかみ込みや傷付などに注意し、振動などで使用中に傷が付かない位置に設置してください。
- プッシュスイッチの位置を確認後、φ4.0×10ビス3個で確実に固定してください。
- 安全のため、配線がたるまないよう適宜固定してください。
- 電源スイッチはお客様が調達してください。  
電源スイッチから(配電盤のある場合には配電盤より)バッテリー間は導体面積が3mm<sup>2</sup>以上の被覆電線を使用してください。
- 電源スイッチは、漏電しない位置に設置してください。



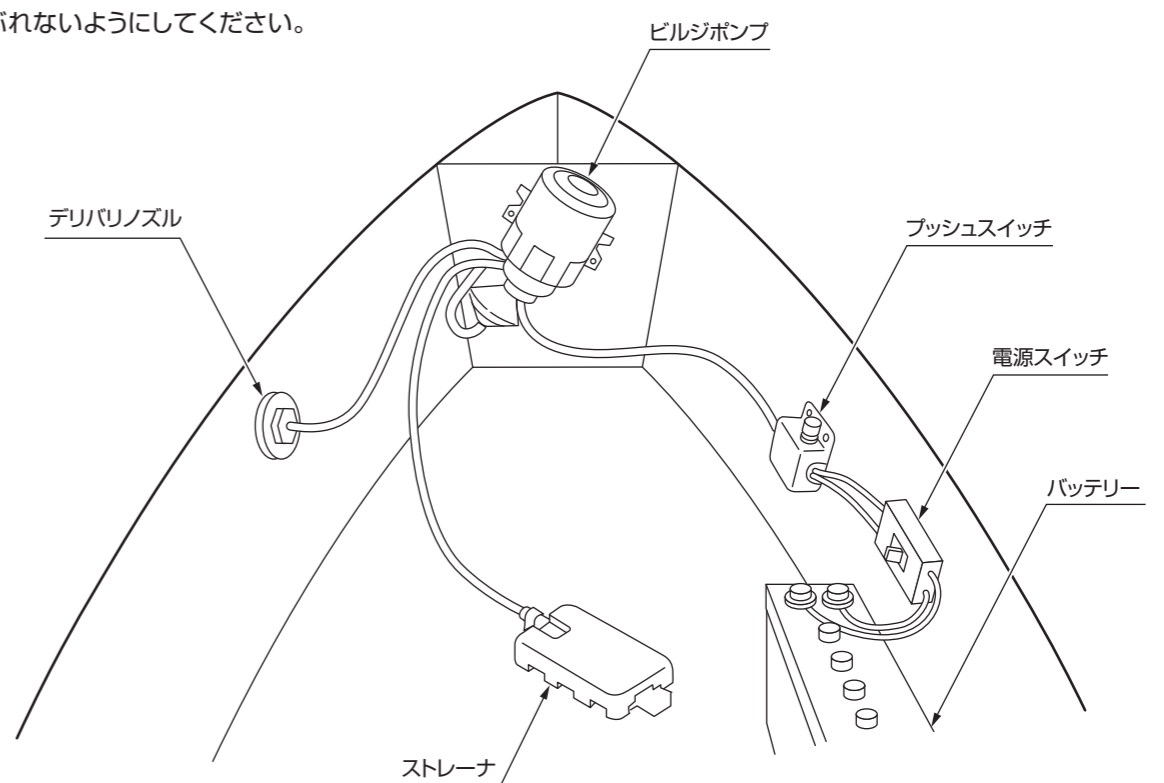
## 5 呼水

- ホース取り付け前に吸入口より呼び水を行ってください。



## 6 ホースの接続

- ストレーナよりのホースをポンプの吸入口へ確実に差し込んでください。
- デリバリノズルよりのホースをポンプの排出口へ確実に差し込んでください。
- ホースはできるだけ短くし、急な曲げをさけてください。
- ホースはつぶれないようにしてください。



## 7 運転接続

- 取り付けが完了したら、船底へ水をため試運転を行ってください。
- 操作はプッシュスイッチを2~5秒押し、ポンプが自吸と吐出を開始するのを確認してください。  
排出液がなくなれば、自動的に停止します。